

平成29年第4回北本市議会定例会請願文書表

受理番号	議請第6号
受理年月日	平成29年11月21日
件名	「日本政府が核兵器禁止条約に署名・批准することを求める意見書」の国会提出を求める請願
請願者の住所 及び氏名	戦争を許さないオール北本 代表 杉田仙太郎 他329人
請願の趣旨	別記のとおり
紹介議員氏名	北原正勝

【請願趣旨】

日本は「二度と戦争の惨禍を繰り返さない」ことを誓った日本国憲法のもと、平和な社会を維持してきました。そして唯一の戦争被爆国の国民として、被爆者の方々を中心に「核兵器のない世界」の実現のために平和運動を続けてきました。そしてついに今年7月7日、国連において122カ国の圧倒的多数の国々の賛成によって「核兵器禁止条約」が採択されました。

この条約は、核兵器の使用はもちろん、製造も貯蔵も移動も禁止しています。また核兵器の使用による威嚇も禁止しています。日本は核兵器は持っていませんが、アメリカの「核の傘」の下にあるとされています。「核兵器が抑止力となって平和が守られている」という考えがありますが、それは「いざとなったら核兵器を使うぞ」ということです。核兵器が使われれば、広島・長崎以上の被害を受けることは明らかです。日本国憲法は「紛争を解決する手段として武力を行使しない」と宣言しています。「核抑止」という考えは改めるべきではないでしょうか。

今回のこの条約は、紛争を戦争にせず、平和的に解決することを求める、多くの人々の願いが実ったもので、人類の歴史を、戦争のない世界へと導く画期的な力を持つものです。「人類は、生物兵器・化学兵器について、使用・開発・生産・保有を条約、議定書などで禁じてきました。それらをはるかに上回る破壊力をもつ核兵器を禁じることに何のためらいが必要でしょうか」とヒバクシャの方々は訴えてきました。

北本市は1986年6月市議会において、世界連邦平和都市宣言、北本市非核平和都市宣言を全会一致で決議しました。その中で、「世界中の核兵器がすみやかに廃絶されるよう、あらゆる可能な運動を展開する」と宣言しています。

日本の政府が、核兵器を禁止し、核兵器のない世界の実現のために、国際社会において積極的役割を果たすことを求めます。

以上のことをふまえて、北本市議会として、衆参両院議長および内閣総理大臣に意見書を提出していただくよう請願いたします。

**【請願事項】**

- 1 国連が2017年7月7日に採択した「核兵器禁止条約」に署名・批准して下さい